

令和7年度「埼玉県立自然公園」クリーン登山報告書

(一社) 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会自然保護委員会

実施場所	二本木峠～皇鈴山～登谷山
実施年月日	令和7年 6月29日(日)
実施山岳会	アルパインクラブ四季彩会
報告者	森松 恵一郎
報告書作成日	令和7年7月14日
コース(コースタイム) 「内手バス停」付近の二本木峠登山口 9:25→上ノ山地区集落→二本木峠 12:10→愛宕山 12:20～12:35→皇鈴山 13:00～13:15→登谷山山頂 13:40～14:00→登谷山北側鞍部→(車道)→二本木峠 15:00→「内手」16:20→回収ゴミ検量	
参加者名 L=森松 恵一郎 S L=岩武 成秋 1. 濱津 浩子 2. 細井 三知男 3. 加藤 實 4. 山口 新二 5. 武石 昌之 6. 萱森 慶一 7. 竹内 親和 (計9名)	
収集ゴミの種類 不燃ゴミ: 缶類=20個 瓶(ガラス)=6本 可燃ゴミ: 1kg 他: ペットボトル: 8個 他: 合計 4.9kg	
所見・要望事項 1. 皇鈴山・登谷山がある尾根筋には車道(三沢坂本線)が通っており、「内手」バス停～二本木峠を結ぶ登山路は近年使用者が少ないためか、ゴミは少ない。経年したゴミ(ビン、缶)が散見された。 2. 近年 車道が開通した皇鈴山山頂の展望広場の周辺は、車で人が訪れるためか 食べ物のビニールゴミが比較的多い。 3. 二本木峠～皇鈴山～登谷山 区間の稜線登山路はゴミがほとんど無く、気分の良い縦走を楽しめる。	
その他、登山道・道標などの状況 1. 「内手」バス停～二本木峠までの区間は、近年あまり登山には使用されなくなったためか、登山路が草やブッシュに埋もれてしまって、道筋が良く分からない箇所がある。 2. また同区間の登山路は、集落の車道と合流・分岐する。そのような場所に写真のような「導標」が設置されているが、倒れたまま草むらに埋もれていたり、無くなっている箇所もある。修復を望みます。	



写真1 収集ゴミの写真



写真2 参加者の写真



■収集出来なかった産業廃棄物・大型家庭ゴミ・廃車等の有る場所についてゴミの写真・場所の略図()

1. ゴミ: 多くの建材の廃材
2. 場所=林道の東側下方

右図の×印



車道から直接投棄されたもので、観光客や登山者のゴミではない。すぐ上の車道に「不法投棄厳禁」の立て札がある。(ゴミ投棄の後に、立て札が設置されたのかも?)

和7年度「埼玉県立自然公園」目指せクリーントイレ報告書

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会自然保護委員会

実施場所	皇鈴山	トイレの写真・場所の状況 (右余白部)  坂本地区 公衆トイレ (外観) 〔バス通り(県道11号)から分岐して、 槻川を渡る車道橋のそば〕
トイレ名称 (場所)	「坂本公衆トイレ」 (内手バス停 付近)	
実施年月日	令和7年 6月 29日 (日)	
実施山岳会 (部)	アルパインクラブ四季彩会	
報告者	岩武 成秋 森松 恵一郎	
報告書作成日	令和7年 7月 10日 ()	
記入例 項目毎 (レ) A・(B)・C トイレの形状は? 洋式 (1基) 和式 (2基) 水洗 (3)、汲取り (0) 他 () コースのどの辺? (登山口) 途中・下山口・他 管理は? 行政 (地区) 個人・不明 内手地区の住民の方が定期的に清掃されている。 使い勝手は? (良い) 普通・汚い・もう NG 特記事項 : このバス停より先、白石車庫までの 主な登山口バス停には、管理されたトイレが 設置されており、ここでもこのルートを利用 する登山者・ハイキング者に有難い施設である。 また使用しても良い? (はい)・いいえ		トイレの写真・場所の状況 (右余白部)  男子トイレ内部 (和式)
MEMO ・真新しくはないが、清掃が行き届いて清潔さを感じるトイレである。 ・流し水の出る量、予備ペーパーの量とも十分。 ・トイレ調査当日の朝も、地元の方が清掃をしておられて、「観光客のため…」という意気込みが感じられた。		ご意見・ご要望など (提案を含む) ・できれば、トイレの付近に5~6台程度の無料駐車場があると有難い。